

# 月読

ツクヨミ

R-18  
成人向け  
ADULT  
ONLY



— 異界

きさらぎ駅、マヨヒガ、犬鳴村  
桃源郷、等々  
都市伝説としても語られる  
人が属する世界の外側

はあ

はっ

元山岳部と…言っても  
一年のブランクで  
このザマかよ…

とある山中の深く霧に  
覆われた場所  
普段何者も寄せつけぬ神域

おまけに変な  
霧も出てきたし  
…ったく

—っ

# 月読

ツクヨミ

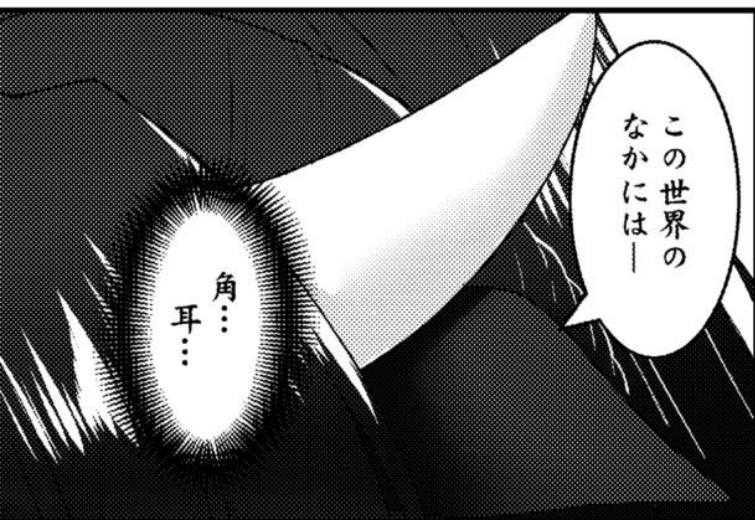
その神社には半人半獣の  
巫女が住まうという





あら？こんな  
ところに珍しい

人の来訪なんて  
何年ぶりかしら？



この世界の  
なかには—

角…  
耳…



まさか…本当に  
いたなんて…

〇〇山？



ここは…？

ここは「狭間」  
現実と異界の境界と  
言われておりますわ

ふふ…人には少し  
難しかったかしら

…？



ええ、自分は初めてですが  
あそこは登山道も整備されて  
ますしきちんと準備して行き  
ますよ

まあでも一応  
注意はしとけよ

もちろんですその辺は  
先輩たちに口酸っぱく  
言われましたから



俺らの遙か上の先輩  
昭和の時代からある  
話だ

はあ…でもそんな話  
初めて聞きましたよ



それだけ  
じゃない

あそこには  
牛巫女の伝説が  
あるんだよ



牛巫女？

角巫女とも  
言われてたな



そりゃ歴代部長の  
申し送りだからな

伝説を体験  
してしまった…

誰に言っても信じて  
貰えないだろうな…



もし…今  
よろしいですか？

はっ！はいっ  
大丈夫です！

—失礼いたします



—っ！

み…巫女さん

ふふっ…♥私の  
ことは津久詠と  
お呼びください

この姿に  
驚かれましたか？

むねっ…♡

は…はい

ピン

ピン

ピン

ピン

ピン

ピン

そこに足を踏み入れる  
貴方は何者ですか？

この狭間は本来  
人を遠ざけるもの



何者って  
見ての通り…

貴方は狭間に  
選ばれたのです  
私のために♡

いいえ

ぎゅ…!

はあ?

セクッ!

じゅ…



んっ…!

その身体に満ち溢れる  
精力…♡ああ…  
こんなにも♡

七ツ…



ふふっ♥たくましい  
おち○ぽですわ♥

な...何か  
いつもより...

この精気こそ貴方が  
狭間に選ばれた証し♥





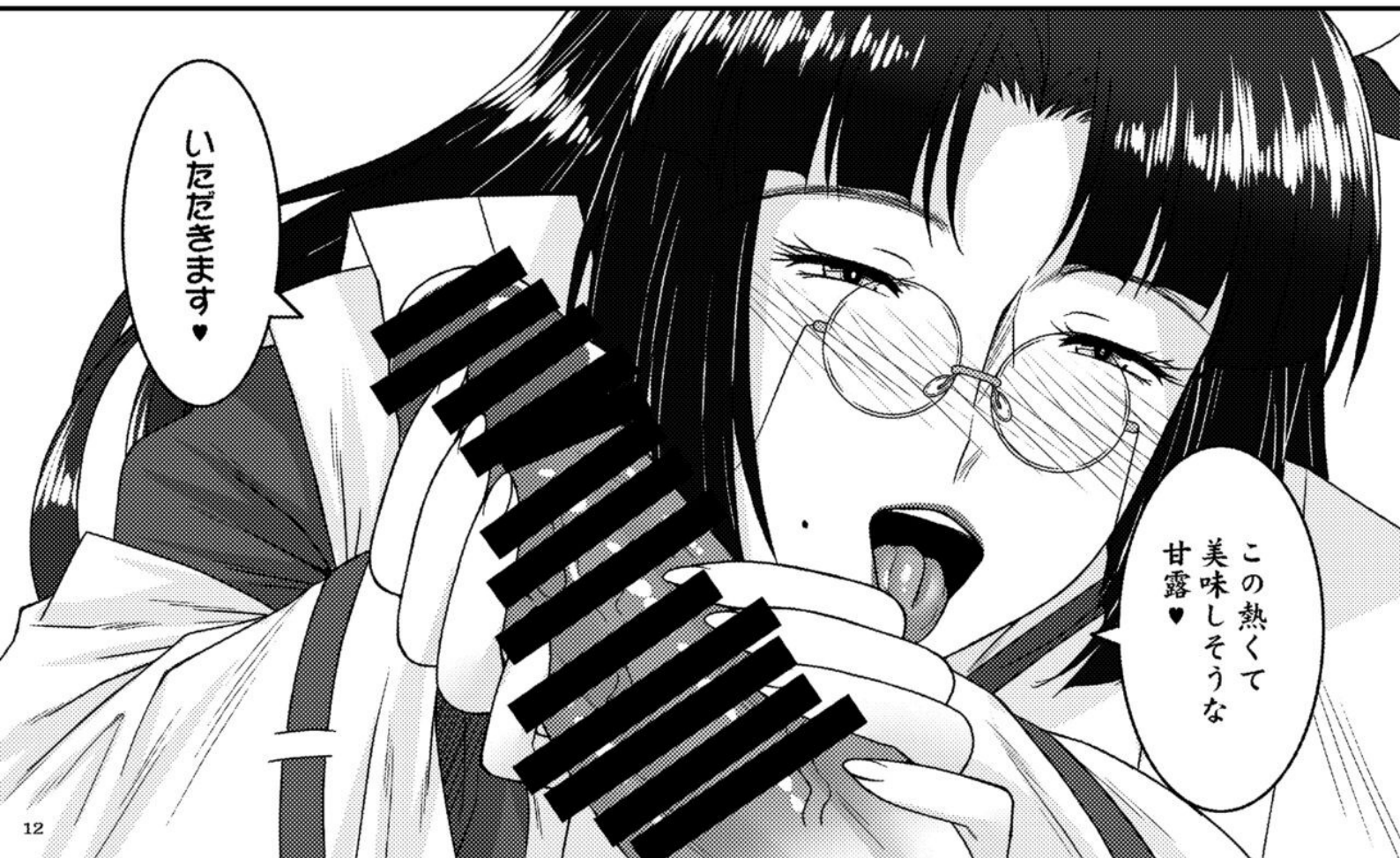
ああ…♡もう私  
我慢できませんわ♡

びびっ♡

うっ…  
津久詠さん…っ

たっ♡

たっ♡



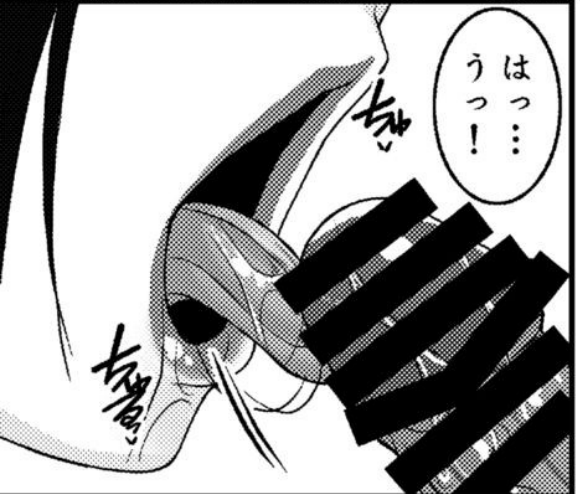
いただきます♡

この熱くて  
美味しそうな  
甘露♡



チ○ポが痛いくらい  
硬くなってる気が...

うあっ...!舌で  
触れられているだけ  
なのに...っ!

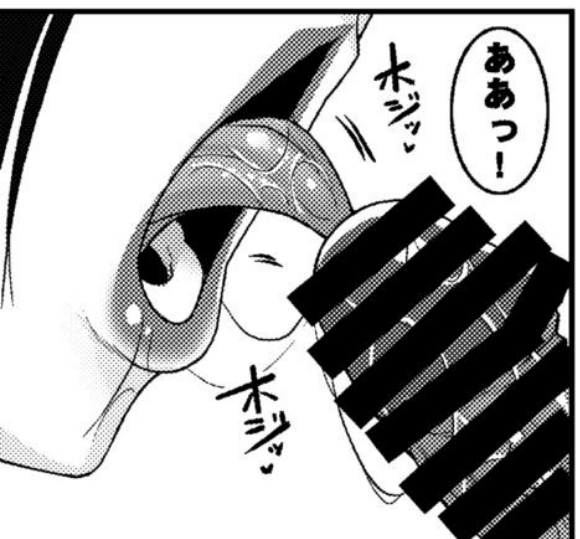


はっ...  
うっ!



まだまだ  
これからですわ♡

もっとうっすら  
味あわせ...♡



ああっ!



チ○ポの先が  
舌で転がされてる！

うっ…あっ！口の  
中がうねって…



尿道ごと  
吸い出される！



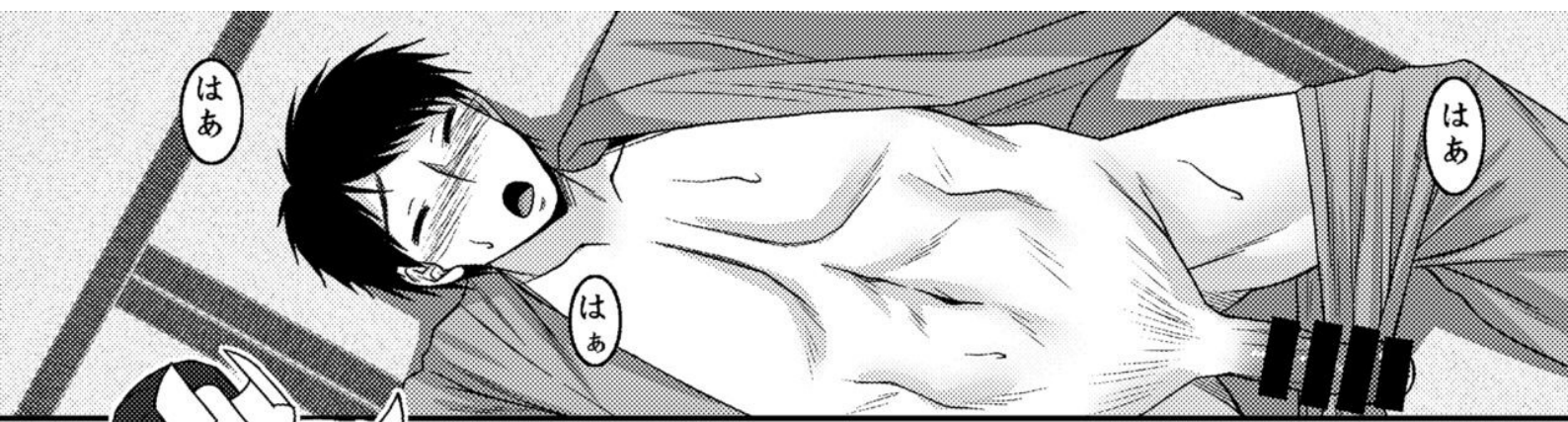
喉の奥で  
絞られて…

ああっ！



ああ…♡口の中に  
広がる生の膾…  
なんて雄々しい♡

濃さ♡量♡臭い♡  
素晴らしいわ♡



はあ

はあ

はあ



ご覧下さい  
貴方様♡

私のこども  
こんなになつて  
おりますわ♡



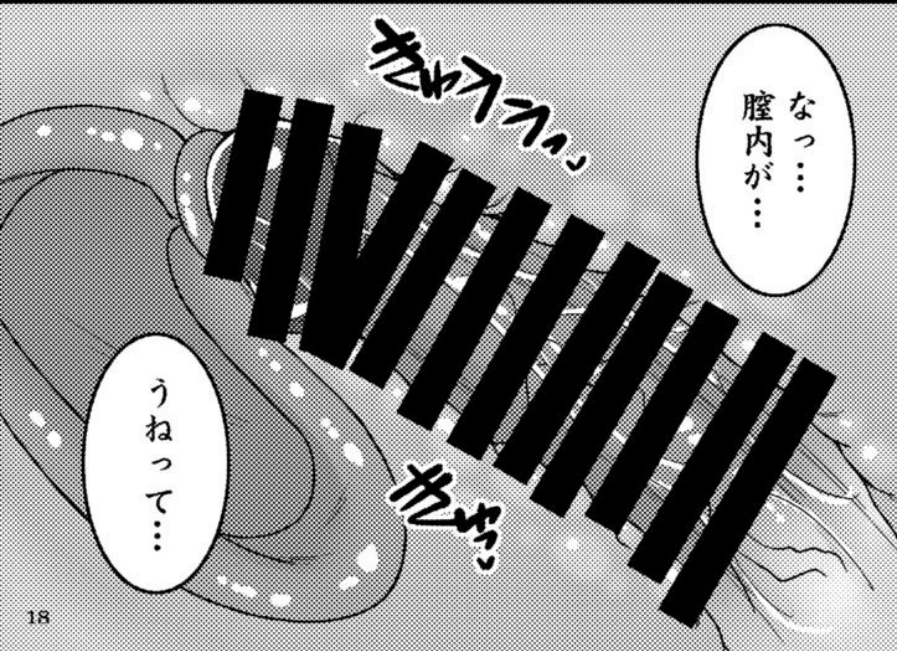
さあ♡

ごめんなさい♡



私めの膣内なで♡

先ほどより更にぞろり立ったたくましい男根を…♡



なっ…  
膣内が…

うねって…



ああっ

あっ…

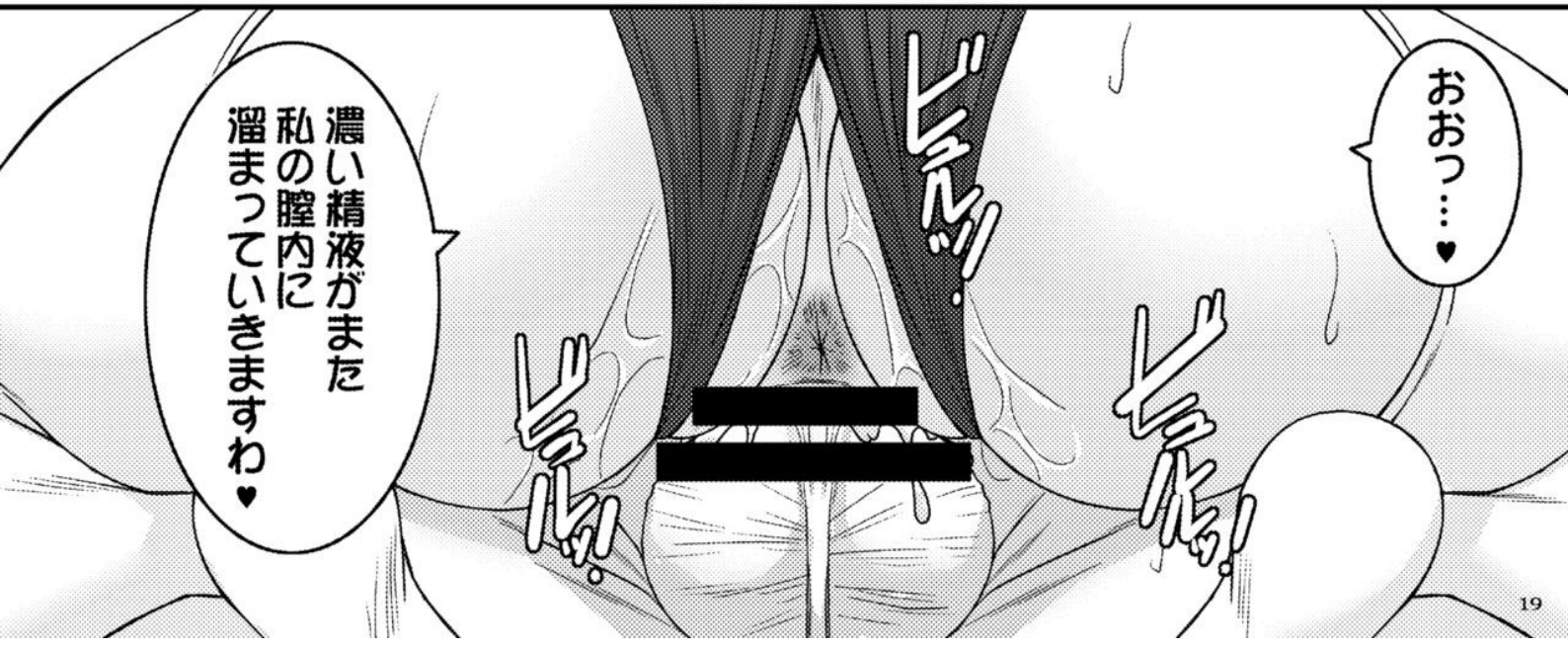


はあ...♡

とろもろ♡  
熱く硬く  
潤い♡

んっ♡

はあっ♡



おあっ...♡

濃い精液がまた  
私の腔内に  
溜まっていきますわ♡



満たされて  
いきます♥

私の子宮が



もっと...  
もっと♥

私の膣内を  
潤して♥

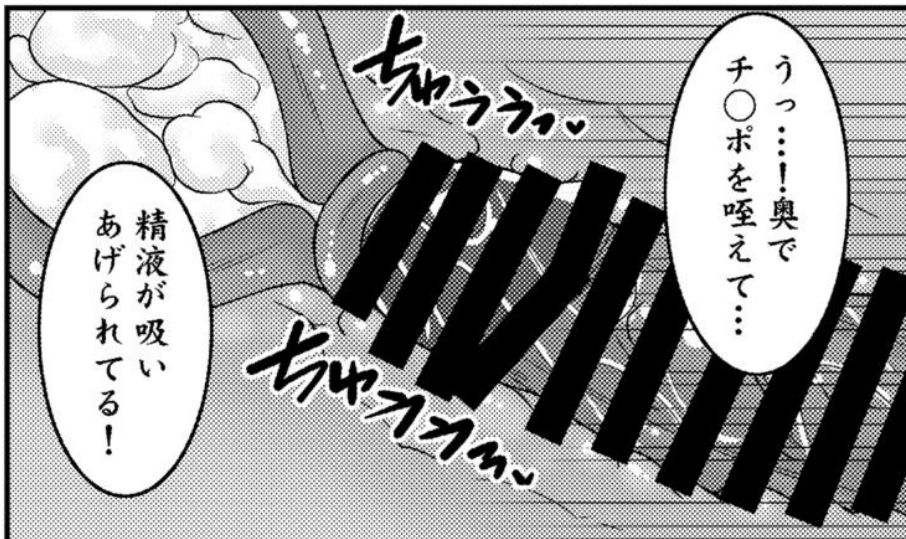
ぐわんぐわん

ぐわんぐわん



まだまだ  
ですわ♥

はあっ♥



うっ...!奥で  
チ○ポを啜えて...

精液が吸い  
あげられてる!

ぐわんぐわん  
ぐわんぐわん

夜は始まったばかり  
この身体の疼きを

貴方のオチ○ホで  
鎮めて下さいまし♡

ああ…♡また私の  
膣内で大きく…♡  
この乳房も♡

どうぞ貴方の  
思いのままに♡

あおんっ♡

ぎゅっ  
ぎゅっ  
ぎゅっ

この張った乳房から  
乳を絞るように  
強くっ♡

ええ♡ええ♡  
それが私の身体♡

もっと強くっ  
下さっまっ  
♡

くっ…揉むたびに  
締め付けが強く…

貴方の精を少しでも  
多くいただくとためだ♡



腰が…腰が  
止まらないっ!

うっ…!  
くっくっ!



私の膣内をつ  
その熱い精液で

いつはいつか  
下れたいわねっ!



ああっ♥また  
ぶくらんで…♥

くっくっ…





子宮を満ちす  
甘露をくぐぐ!







はーっ

はっ

はーっ!



貴方様



こんなにあふれて  
しまうなんて:  
なんて素敵なのかしら♥

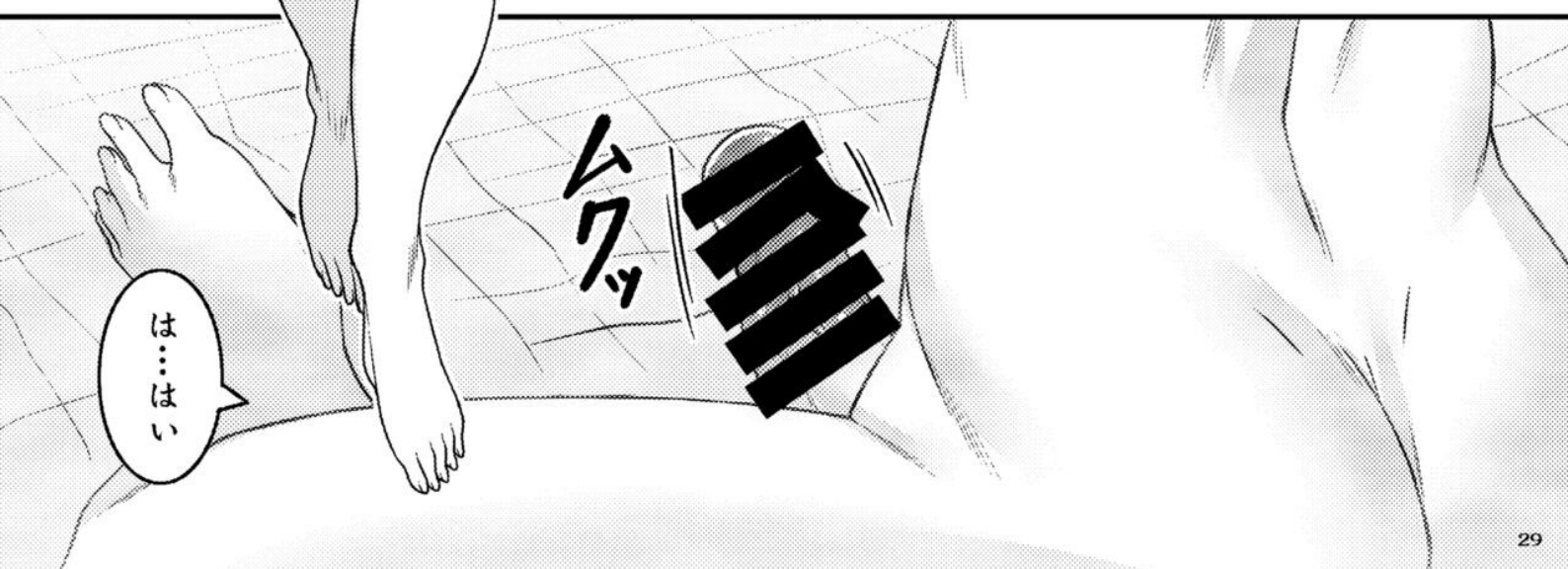
トキ...



ここには広い  
風呂もございます

どうぞお体を  
お休めになって  
下さいませ♥







お湯加減は  
いかがですか？

は…はい大丈夫です  
すごく快適で  
気持ちよくて…



こちらも  
すつかり♡

えっ…う？あつ  
そんな…！



この源泉には疲労回復の  
効果がありますから

は…はあ

ムリッッッ



ヒクッ!

はっっ!



うっ...! そっ  
それはっ!

カーン

カー!

先ほどあれだけ  
出したのにもう  
こんなだ...♡



ビクッ!

ビクッ!

ビクッ!

ビクッ!

ちよっ...  
そんなんっ!

先ばかり刺激  
されると...!!



あっ♡

あっ♡



いいんですよ  
出してっ♡

あらっっっっっっっ  
しまっっっっ♡







激しい膣使いつとも雄々しくて素敵ですわっ♡

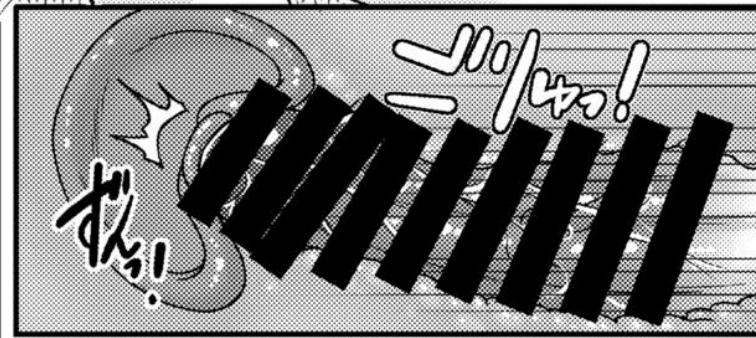
ああんっ♡

うっ...! くっ!  
さっきより...キツイ



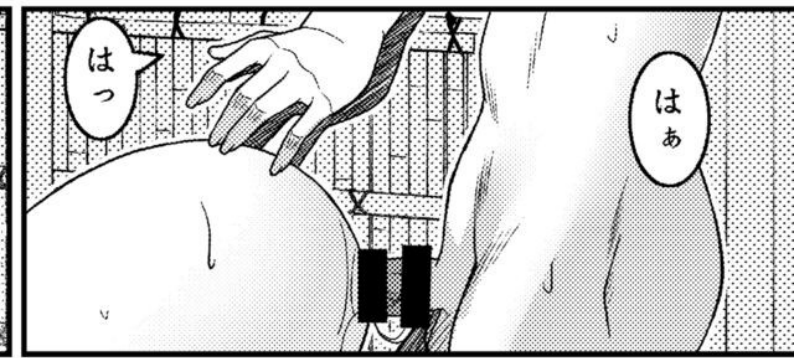
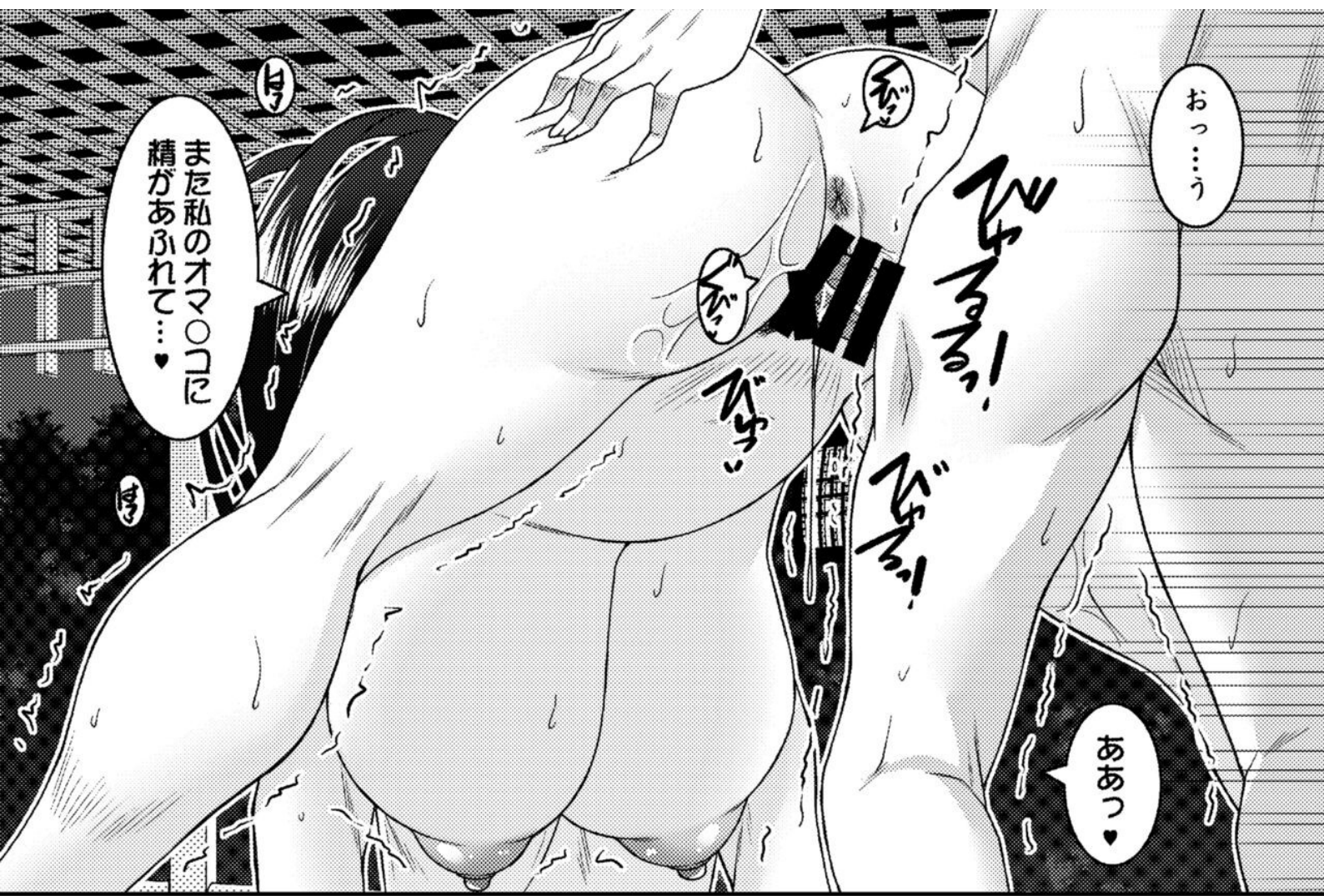
こんなにつ突かれたらうっ♡

私の子宮口腫ちますわっ♡



んおっ♡...奥ッ  
オチ○ボがつ♡

子宮口を潰して...っ♡



あひんっ♡  
オマ○コシッ♡

オチ○ポで  
えくられてるっ♡

あひん

あひん

あひん

あひん

こんな強い  
オチ○ポっ♡

はじめて  
ですわっ♡



ああっ…  
嬉しいっ♡

何回出しても  
おさまらない

俺もこんな  
はじめてです



ぽん

ぽん  
ぽん  
ぽん



また子宮の奥で  
しみ込んで  
きますわ…♡

ぽん  
ぽん  
ぽん



また貴方様の精を  
欲してしまいます♡

膣内なかで  
受け止めて!

ふっ…くっ!  
また…出るっ!



私のオマ○コが  
びんぎょ♡

貴方様のオチ○ホを  
迎え入れてますわ♡

私…♡久しぶりに  
たぎってしまいます♡



ああ♡

なんて卑猥  
なんでしよう♡

こんなに足を掲げ  
させるなんて♡



はああ♡



はっ♡

はっ♡

ああんっ♡



もう…私のオマンコ  
貴方様のオチ○ホに  
×○×○ですわ♡

子宮口が拡がって  
いきますわ♡

ひびくわ  
わびるたひび♡





ひあんっ♡



あんっ♡乳首  
敏感なのっ♡



ああっ♡オチ○ポ  
大きくなつて…♡

くっ…！また  
出るっ！

出してっ♡私のオマ○コ  
貴方様の種付け汁で  
いっぱいにしてえ♡



また…膣内が  
締まって…！

ぶぶっ♡オチ○ポ  
苦しいですか？

おっ……っ！  
あっっ！

ん

ん

ん

ん

ん



おほおほ

おほおほ

クワッ!

クワッ!

射<sup>で</sup>精<sup>せい</sup>を子宮<sup>子宮</sup>に<sup>に</sup>注<sup>つ</sup>ぎ<sup>ぎ</sup>ます<sup>ます</sup>。私の<sup>私の</sup>子<sup>子</sup>種<sup>種</sup>汁<sup>汁</sup>を<sup>を</sup>注<sup>つ</sup>ぎ<sup>ぎ</sup>ます<sup>ます</sup>。

クワッ!



おっ...うっ!  
あっっ!

おほおほ

ムクッ!

アハハ!

アハハ!

アハハ!

射精するの  
子宮に精子を  
注射するの

おほ

ムクッ!





君っ！大丈夫か  
しっかりしろ！

私たちの声が  
聞こえるか？

あなたこの人  
気付いたみたい



ありがとうございます  
ございました

気を付けて

何か  
あったら！



あの…

君はこの岩場で  
呆然としていたんだ  
覚えてないのかい？

声をかけても  
反応がなかった  
から…

あ…いえ…すいません  
大丈夫です…何か夢を  
見たみたいで…

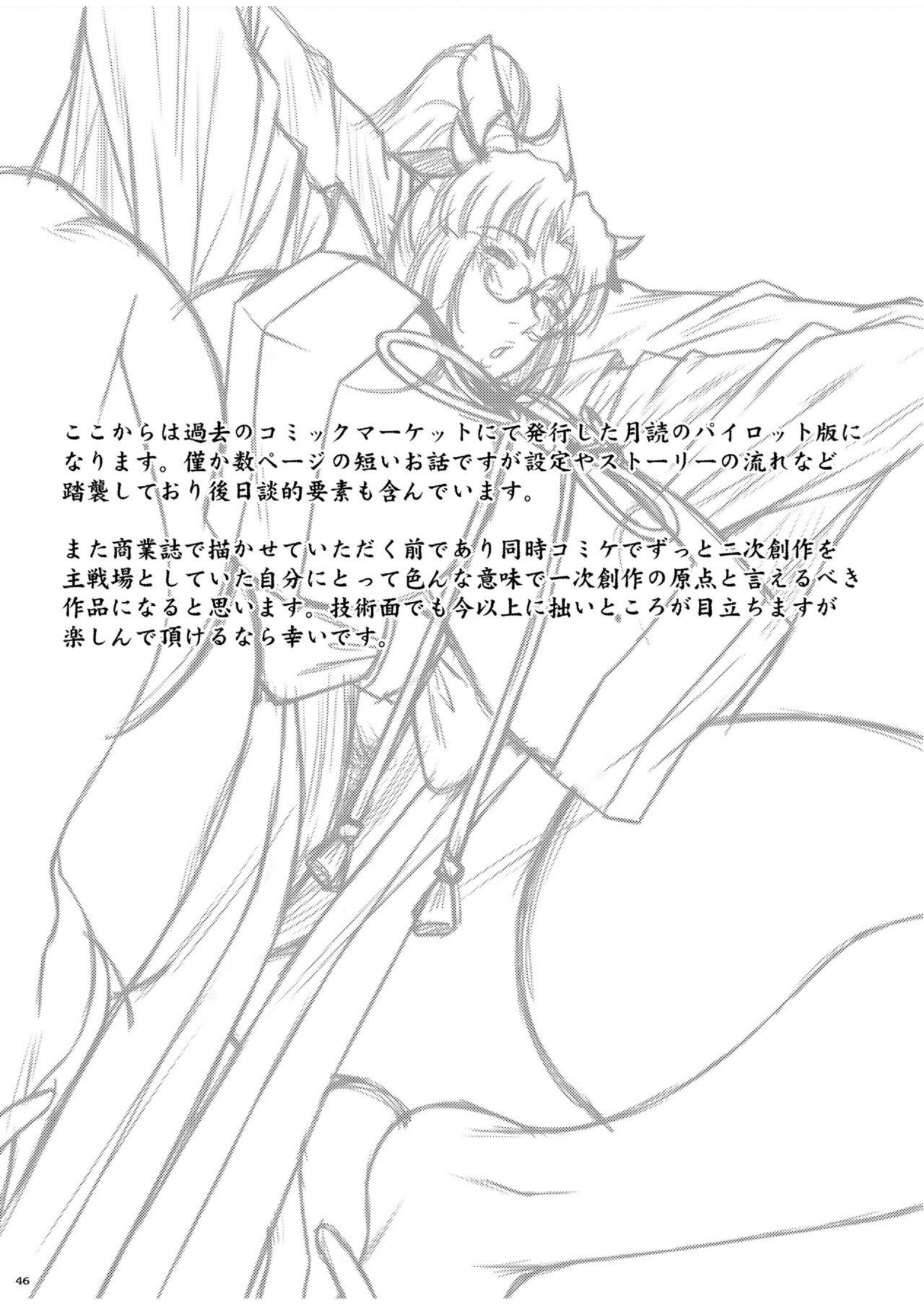


あれ…？  
俺ここで何を  
してたんだっけ？

変に体だるいし  
下半身に妙な  
脱力感が…

トクン…

トクン…



ここからは過去のコミックマーケットにて発行した月読のパイロット版になります。僅か数ページの短いお話ですが設定やストーリーの流れなど踏襲しており後日談的要素も含んでいます。

また商業誌で描かせていただく前であり同時コミケでずっと二次創作を主戦場としていた自分にとって色々な意味で一次創作の原点と言えるべき作品になると思います。技術面でも今以上に拙いところが目立ちますが楽しんで頂けるなら幸いです。

R-18  
ADULT  
ONLY

成人向

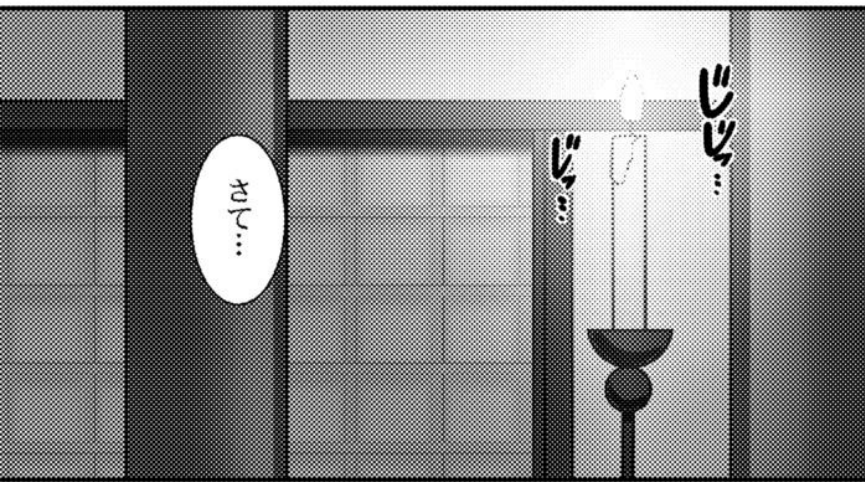


—  
月蝕  
—



あら、また来られたのですか  
貴方も物好きですね…

こんな山奥まで  
毎日ご精の出ること



ジジ…  
ジジ…

さし…



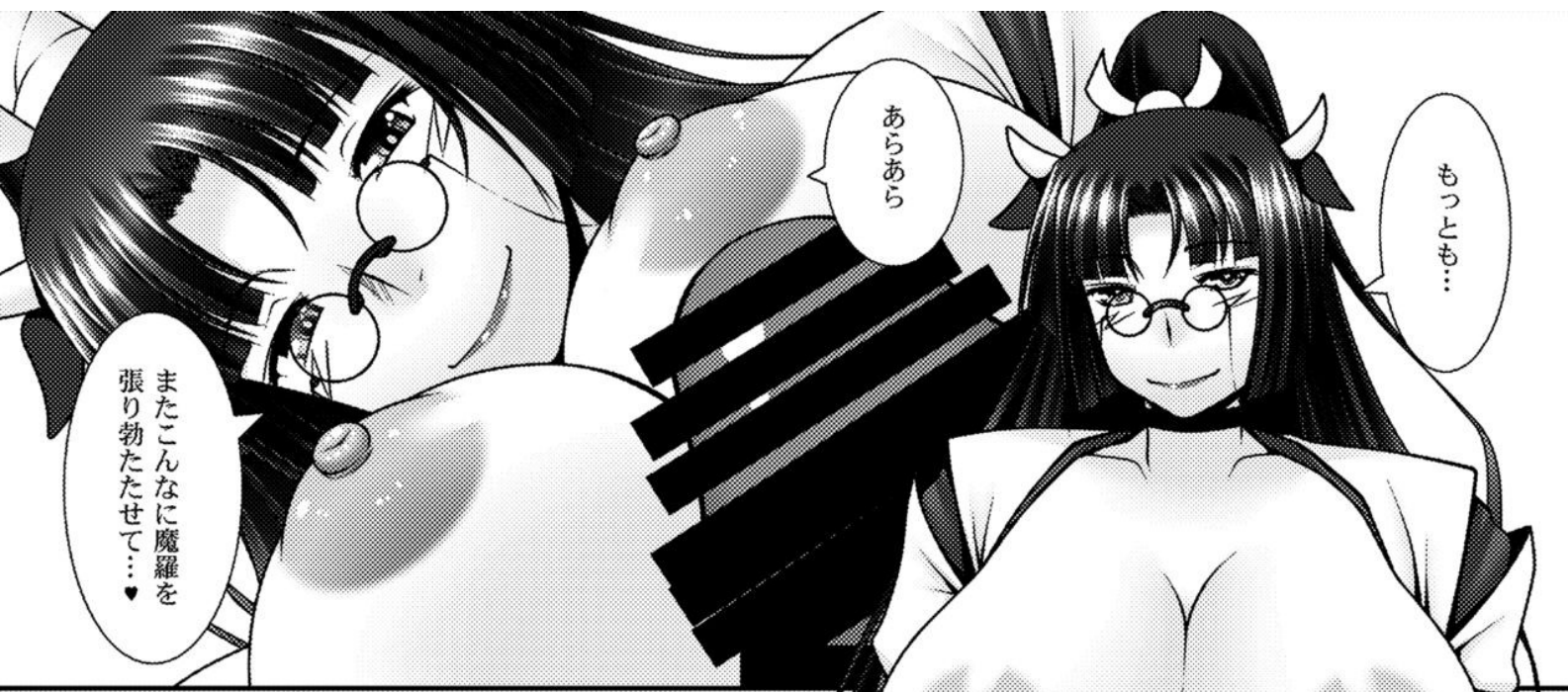
まあ、立ち話もなんですから  
どうぞ中に

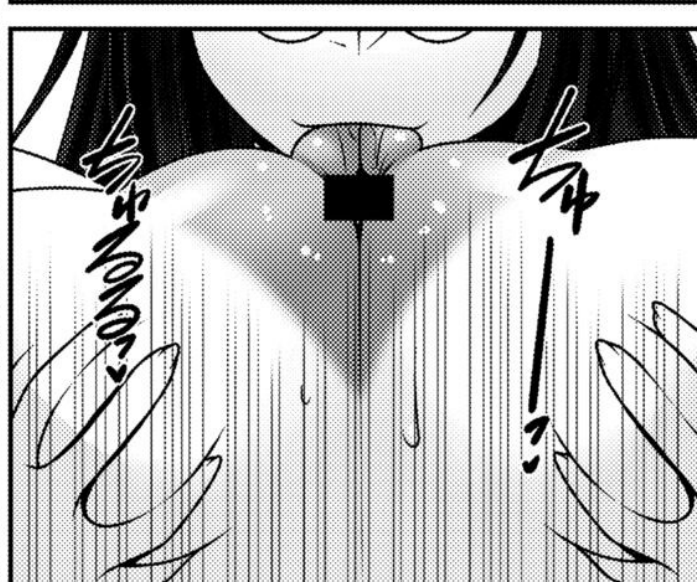
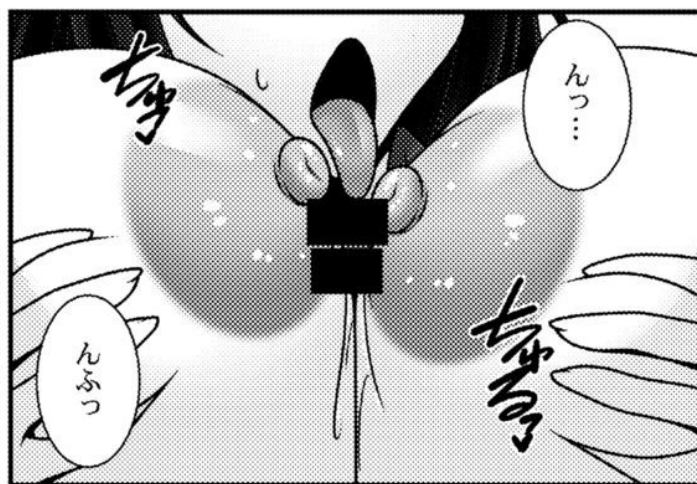
暗い山道を歩き通して  
お疲れでしょう？

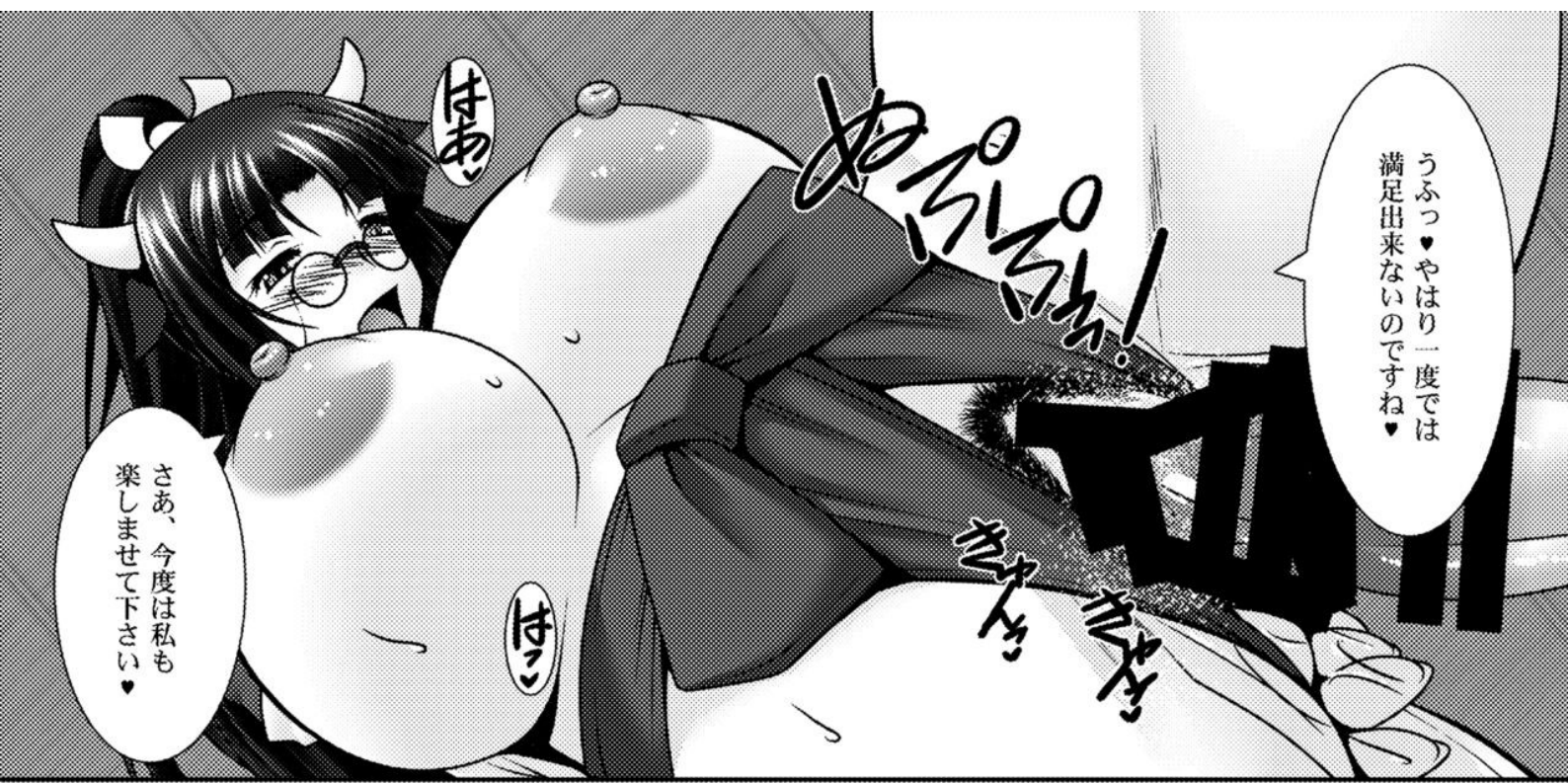


先日も申し上げた通りここは「狭間」  
本来人が立ち入る場所ではないのです

早々に帰られることをお勧めします  
でなければ命にかかりますよ？











子を孕ませようとする  
本能が私の子宮にも  
伝わってきます♥

いざやうさま♥

ああ...感じます  
貴方の命の雫が  
私の臍内に流れ  
込むのを♥



-奥付-  
-月読-

印刷：大陽出版株式会社

2023/08/13 野麦茶発行

<https://twitter.com/nomugicha>

無断複製・転載・インターネットへの  
アップロードを禁じます



# 月読

ツクヨミ

**R-18**  
成人向け  
**ADULT ONLY**

Presented by Nomugicha  
For Adult Only